

米国、カナダ、オーストラリア 3カ国の豆類の生産見通し状況

米国：2016年7月12日公表

USDA Crop Production

5月農業概況（2016年6月10日公表）

米国北部で気温が平年並みを上回ったことから、太平洋沿岸北西部及び中西部北方で農作業が順調に進んだ。これとは逆にロッキー山地中部から大西洋沿岸中部にかけての地域の気温は平年並みを下回った。南西部の一部、大平原南部及びミシシッピー渓谷中部では、平均気温が平年並みに比べて1.1℃以上低かった。南西部、テキサス州及び大部分の大西洋沿岸諸州で総降水量が平年並みを200%以上上回っているのを除けば、米国の大部分の地域で降水量は平年並みに近い値となっている。テキサス州、ルイジアナ州及びバージニア州の一部の地域では、5月の降水量が平年並みを152.4mm以上上回った。テキサス州南東部では5月後半に雨が多く、降水量が228.6mmを超えた地域では記録的な洪水に見舞われ

た。

6月農業概況（2016年7月12日公表）

6月には米国全体が平年並みを上回る気温に恵まれた。NOAA（National Oceanic and Atmospheric Administration、アメリカ海洋大気庁）では、今年の6月の平均気温は米国の気温としては過去最高記録の暖かさであったと評価している。太平洋沿岸からミシシッピー渓谷北部にかけての地域では、平均気温が6月としては特に高かった。フォーコーナース地域（the Four Corners、米国南西部のユタ州、アリゾナ州、コロラド州及びニューメキシコ州を指す）及びミズーリ渓谷北部では、平年並みの気温を3.3℃上回った。6月には米国の大部分の地域で平年並みに比べて乾燥した状況が続いた。中西部北方、大西洋沿岸中部およびテキサス州では、例外的に雨が多かった。メキシコ湾沿岸及びバージニア州西部では、6月の降水量が254mmを上回った。

表1 米国の銘柄別作付・収穫面積

作物名	作付面積 (ha)		収穫面積 (ha)		単収 (t/ha)		生産量 (t)	
	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016
オーストリアン ウィンターピー	13,760	13,760	8,500	9,710	1.39		11,790	
乾燥インゲンマメ	714,040	683,520	692,590	659,440	1.97		1,366,270	
ヒヨコマメ	83,970	113,840	82,190	112,300	1.39		114,440	
大粒ヒヨコマメ	54,750	77,010	53,100	75,640	1.38		73,260	
小粒ヒヨコマメ	29,220	36,830	29,100	36,660	1.42		41,190	
乾燥エンドウ	462,560	513,150	438,480	486,440	1.89		829,300	
レンズマメ	199,510	376,360	192,630	359,360	1.24		239,320	
リンクルドシードピー	(未詳)		(未詳)		(未詳)		17,420	

データは入手可能な最新の推定値であり、最新の報告書または前回の報告書の推定データに基づいている。現行年度の推定は2016作物年度全期間に関するものである。空欄は、推定期間がまだ始まっていないことを示す。作物生産量: 2016年7月12日公表。米国農務省 (USDA)、農業統計委員会、国内農業統計局 (NASS)

カナダ：2016年6月17日公表 AAFC Outlook for Principal Field Crops

本報告書は、カナダ農業食料省 (AAFC) が7月に公表したカナダの2015/16作物年度及び2016/17作物年度の生産見通し報告書を更新するものである。大部分の作物について、カナダの作物年度は8月1日に始まり、7月31日に終わる。ただし、トウモロコシ及びダイズの作物年度は9月1日に始まり、8月31日に終わる。

乾燥エンドウ

2015/16作物年度のカナダの輸出量は、2014/15作物年度に比べて6%減少して290万tとなる見込みである。これは、インド及び中国への輸出量は増加したが、それ以上にバンラデシュ及び米国への輸出量の減少が大きかったことによるものである。米国の乾燥エンドウ収穫量が過去最高記録となったことから、8月から4月までの期間のカナダから米国への輸出量は前年の同

じ期間の輸出量を大幅に下回った。供給量が減少したことに加えて、国内利用量が増加し、輸出需要が堅調であったことから、カナダの期末在庫量は減少する見込みである。黄色乾燥エンドウの価格が過去最高記録に達したことから、乾燥エンドウの平均価格は、2014/15作物年度に比べて大幅に上昇して過去最高記録に近い水準となるものと予測されている。

黄色乾燥エンドウの緑色乾燥エンドウに対する価格上乘せ分は、作物年度を通して平均90ドル/tとなるものと予測されており、2014/15作物年度に緑色乾燥エンドウの価格が黄色乾燥エンドウの価格を30ドル/t下回ったのに比べて対照的に高くなっている。5月の1カ月間に、黄色乾燥エンドウの価格は変化しなかったが、緑色乾燥エンドウの価格は、輸出需要が低調であったことから8ドル/t低下した。

2016/17年度のカナダの乾燥エンドウ作付面積は、2015/16年度に比べて16%増加して173万haとなる見込みであり、これは他の作物に比べて収益性が高いことによる

ものである。州別に見ると、サスカチュワン州が乾燥エンドウ作付面積の54%を占めており、アルバータ州が42%を占め、残りをマニトバ州及びブリティッシュコロンビア州が占めている。生産量は、平均単収が高かったことと作付面積が多かったことを反映して、28%増加して過去最高記録の410万tとなる見込みである。しかし、期初在庫量が少なかったことから供給量の増加はわずかであった。輸出量は増加する見込みであり、引き続きインド及び中国がカナダ産乾燥エンドウの市場として1位と2位を占めている。期末在庫量もまた大幅に増加する見込みであるが、平年並みの値を下回っている。カナダの在庫量が増加する見込みであることと、世界的に供給量が増加する見込みであることから、平均価格は2015/16作物年度に比べて低下する見込みである。

米国の乾燥エンドウ作付面積は、米国農務省の予測によれば、24%増加して、過去最高記録の150万エーカー（60万7,000ha）となる見込みである。これは主としてノースダコタ州で過去最高記録の水準に近い作付面積の増加が見込まれていることによるものである。単収及び収穫を断念する割合が平年並みであるとすると、米国の乾燥エンドウ生産量は、AAFCの予測によれば、34%増加して過去最高記録の110万tとなる見込みである。米国はインド及び中国への少量の乾燥エンドウの輸出に成功しており、2016/17年度も引き続き、米国がこの市場に占める割合が増加する見込みであ

る。

レンズマメ

2015/16作物年度の輸出量は2014/15年度を上回って、過去最高記録の230万tに達した。主要な市場は引き続きインド、トルコ、アラブ首長国連合及びEUであった。国内総利用量は増加して40万t近くに達する見込みである。期末在庫量は減少して、2009/10作物年度以来の最低水準となる見込みである。期末在庫量が少なく、輸出需要が強いことから、レンズマメの平均価格は、全ての品種及び等級について過去最高記録の水準まで上昇する見込みである。

現時点に至るまで、大粒緑色レンズマメは赤色レンズマメに対して、過去最高記録に達する上乗せ価格（390カナダドル/t）を維持している。5月の1カ月間にサスカチュワン州の大粒緑色エンドウの生産者価格は110ドル/t低下し、赤色レンズマメの生産者価格は45ドル/t低下した。これは主として、カナダの作付けが終了し、カナダのレンズマメ生産量が過去最高記録に達する見込みとなったことによるものである。

2016/17作物年度のカナダのレンズマメ作付面積は30%増加して過去最高記録の208万haとなる見込みである。これは、引き続き輸出需要が強くと、価格が堅調であることによるものである。サスカチュワン州がレンズマメ作付面積全体の94%を占め、残りをアルバータ州が占めている。生産量は、AAFCの予測によれば、増加して過去最高記録の326万tとなる見込みであるが、

期初在庫量が少なかったことから、供給量の増加はわずかなものに留まる見込みである。輸出量は2015/16作物年度に比べてわずかに増加して240万tとなる見込みである。期末在庫量は大幅に増加して、重荷となる65万tに達する見込みである。カナダの供給量が過去最高記録となり、2016/17作物年度の後半は輸出需要が鈍る見込みであることから、平均価格は2015/16作物年度に比べて低下する見込みである。

米国の2016/17作物年度のレンズマメ作付面積は、米国農務省の予測によれば、2015/16作物年度に比べて72%増加して、過去最高記録の85万エーカー（34万4,000ha）となる見込みであるが、これはモンタナ州及びノースダコタ州の作付面積が過去最高記録となるものと見込まれることによる。単収及び収穫を断念する割合が平年並みであるとすると、2016/17作物年度のレンズマメ生産量はAAFCの予測によれば、45万tで、2015/16作物年度の2倍近い値である。米国産レンズマメの主要な市場は、引き続きインド及びEUとなる見込みである。

乾燥インゲンマメ

2015/16作物年度の乾燥インゲンマメ輸出量は、前作物年度と同じものとなるものと見込まれている。米国及びEUが引き続きカナダの乾燥インゲンマメの主要な市場であり、日本、エジプト及びアンゴラへも少量が輸出されている。北米で供給量が増加したことから、2015/16作物年度の残りの期間も引き続き、米国産及びカナダ産の

大部分の乾燥インゲンマメの価格は抑えられるものと見込まれる。

2016/17作物年度のカナダの乾燥インゲンマメ作付面積は、2015/16作物年度に比べて収益性の低下が見込まれることによるものである。州別にみると、オンタリオ州が乾燥インゲンマメ作付面積全体の42%を占め、マニトバ州が34%、アルバータ州が21%を占めており、残りがケベック州となっている。生産量は16%減少して21万tとなる見込みであるが、期初在庫量が増加していることから、供給量の減少率は13%に留まる見込みである。供給量が限られていることから、輸出量は減少する見込みである。期末在庫量もまた減少する見込みである。特にホワイト・ビーンについて北米での供給量が減少する見込みであることから、カナダの乾燥インゲンマメ平均価格は上昇するものと予測されている。

米国の乾燥インゲンマメ作付面積は、米国農務省の予測によれば、16%減少し、130万エーカー（52万6,000ha）になる見込みであるが、これはミシガン州及びノースダコタ州及びミネソタ州で作付面積が減少したことによるものである。単収及び収穫を断念する割合が平年並みであるとすると、2016/17作物年度の米国の乾燥インゲンマメ生産量（ヒヨコマメを除く）は、105万tとなる見込みで、2015/16作物年度に比べて17%の減少となると予測されている。

ヒヨコマメ

2015/16作物年度のカナダのヒヨコマメ輸出量は、大幅に増加して15万tとなる見込みである。これは主としてパキスタン、米国、EU及び中東諸国への輸出量が増加したことによるものである。このような輸出需要の強まりによって、期末在庫量は減少する見込みである。期末在庫量が減少することで、価格は下支えされるものと見込まれる。カナダ及び世界の期末在庫量が減少することから、平均価格は前作物年度に比べて大幅に上昇するものと見込まれている。

2016/17作物年度の作付面積は、2015/16作物年度に比べて減少する見込みである。州別に見ると、サスカチュワン州がヒヨコマメ作付面積の94%を占め、残りをアルバータ州が占めている。生産量は減少して8万tとなる見込みである。生産量の減少と期初在庫量の減少により、供給量は、さら

に大きく減少する見込みである。供給量に限りがあり、期末在庫量が減少する見込みであることから、輸出量は2015/16作物年度に比べて大幅に減少する見込みである。世界全体では供給量が増加し、中東諸国、米国及びパキスタンの輸入需要が低下することから、平均価格は低下する見込みである。

2016/17作物年度の米国のヒヨコマメ作付面積は、米国農務省の予測によれば、過去最高記録の25万エーカー（10万1,200ha）で、前作物年度に比べて19%の増加となる見込みである。これは主としてワシントン州で作付面積の増加が見込まれていることによるものである。単収及び収穫を断念する割合が平年並みであるとする、2016/17作物年度の米国のヒヨコマメ生産量は、AAFCの予測によれば、16万tと見込まれており、2015/16作物年度に比べて40%の増加となる見込みである。

表2 カナダの豆類作付面積・収穫面積、単収、生産量その他

	乾燥エンドウ [a]			レンズマメ [a]			乾燥インゲンマメ [a]			ヒヨコマメ [a]		
	2014-2015	2015-2016[f]	2016-2017[f]	2014-2015	2015-2016[f]	2016-2017[f]	2014-2015	2015-2016[f]	2016-2017[f]	2014-2015	2015-2016[f]	2016-2017[f]
作付面積 (1,000ha)	1,613	1,489	1,732	1,263	1,597	2,080	126	108	96	73	50	43
収穫面積 (1,000ha)	1,588	1,470	1,700	1,217	1,589	2,050	122	107	94	70	50	42
単収 (t/ha)	2.4	2.18	2.41	1.63	1.49	1.59	2.27	2.31	2.23	1.87	1.8	1.9
生産量 (1,000t)	3,810	3,201	4,100	1,987	2,373	3,255	278	249	210	131	90	80
輸入量 (1,000t) [b]	31	20	30	13	18	13	85	85	85	8	8	8
総供給量 (1,000t)	4,170	3,905	4,230	2,786	2,756	3,343	368	369	320	269	223	98
輸出量 (1,000t) [b]	3,091	2,900	3,200	2,179	2,300	2,400	307	315	290	80	150	50
国内総利用量 (1,000t) [c]	395	905	730	242	381	293	26	29	25	64	63	43
期末在庫量 (1,000t)	684	100	300	365	75	650	35	25	5	125	10	5
在庫量/利用量 (%)	20	3	8	15	3	24	11	7	2	87	5	5
平均価格 (\$/t) [d]	260	360-390	300-330	585	985-1015	760-790	830	750-780	760-790	515	805-835	790-820

[a] 作物年度 (8月から7月)

[b] 輸入量及び輸出量には加工品の量は含まれない。

[c] 国内総利用量 = 食料及び加工原料用 + 飼料用廃棄物 + 種子用 + 損耗。国内総利用量は、総供給量から輸出量及び期末在庫量を差し引いて算出した値である。

[d] 生産者価格 (FOB)。すべての銘柄、等級及び市場の平均。

f: カナダ農業食料省による推定。但し、2015/16年度の作付面積、収穫面積、単収及び生産量については、カナダ統計局による。資料: カナダ統計局及び業界団体。

オーストラリア：2016年6月15日公表 ABARES：Australian crop report

概観

2016/17冬作年度の始まりは、全般的に良好な条件に恵まれ、特に西オーストラリア州では、秋季の間に大部分の生産地域で平年並みを上回る降水量が得られた。秋季の初めの降水量は、東部の諸州では一定せず、4月には全般的に平年並みを下回り、5月にはオーストラリア南東部の大部分の生産地域で平年並みを上回った。この降雨により、ニューサウスウェールズ州、ヴィクトリア州及び南オーストラリア州の多く

の地域で作付けの条件が改善した。ニューサウスウェールズ州北部及びクイーンズランド州の生産地域では、5月の降雨は平年並みから平年並みを下回る程度であったが、6月初めに広範囲にわたって平年並みを上回る降雨があった。

気象庁が2016年5月26日付けで発表した最新の降水量3カ月予測 (2016年6月から8月) では、大部分の生産地域で冬季の降水量は平年並みを上回る見込みである。

オーストラリアの冬作の総作付面積は、2016/17冬作年度には約1%増加して、2,230万haとなるものと予測されている。コムギ及びオオムギの作付面積は減少する見込み

であるが、この減少分はナタネ、オート麦及び豆類の作付面積が増加することで埋め合わせられ、さらに増加に転ずる見込みである。ナタネの作付面積は、全ての主要生産州で増加が見込まれており、これはコムギ及びオオムギに比べて収益性が高くなる予測を反映したものである。ナタネの作付けの条件は、特に西オーストラリア州で良好であった。オート麦及び豆類の作付面積は、全ての州で増加するものと予測されている。

主要な冬作物についてみると、コムギの作付面積は2016/17冬作年度には1%増加して1,270万haとなる見込みであり、オオムギの作付面積は約1%減少して410万haとなる見込みである。これと対照的に、ナタネの作付面積は4%増加して250万haとな

る見込みである。その他の作物としては、オート麦の作付面積は9%増加して90万9,000haとなり、ヒヨコマメの作付面積は8%増加して71万7,000haとなる見込みである。

冬作物の総生産量は2016/17冬作年度には7%増加して4,230万tとなる見込みであり、これは主として平均単収が向上する見込みであることによるものである。主要作物についてみると、コムギの生産量は5%増加して2,540万tとなり、オオムギの生産量は5%増加して900万tとなり、ナタネの生産量は10%増加して320万tとなる見込みである。その他の作物では、オート麦の生産量は19%増加して160万tとなり、ヒヨコマメの生産量は8%増加して109万tとなる見込みである。

表3 オーストラリアの豆類の作付面積及び生産量

冬作	作付面積 (1,000ha)			生産量 (1,000t)		
	2014-15	2015-16s	2016-17f	2014-15	2015-16s	2016-17f
ヒヨコマメ	425	661	717	555	1,013	1,090
ファバビーン (ソラマメ)	164	282	293	284	319	476
フィールドピー	237	238	242	290	205	300
レンズマメ	189	232	253	242	258	330
ルーピン	443	490	517	549	607	662

f: ABARESによる予測。

s: ABARESによる推定。

注: 作物年度は4月1日から3月31日までの12カ月間に作付けされた作物を対象とする。都市部の数値及びオーストラリア北部の数値をオーストラリア全体の生産量に含めるかどうかによって、各表の間で若干の差異が生じる場合がある。

資料: ABARES (オーストラリア農業経済及び農業科学庁): オーストラリア統計局: PulseAustralia

表4 州別生産量

作物名	ニューサウスウェールズ州		ヴィクトリア州		クイーンズランド州		南オーストラリア州		西オーストラリア州		タスマニア州	
	作付面積	生産量	作付面積	生産量	作付面積	生産量	作付面積	生産量	作付面積	生産量	作付面積	生産量
	1,000ha	1,000t	1,000ha	1,000t	1,000ha	1,000t	1,000ha	1,000t	1,000ha	1,000t	1,000ha	1,000t
ヒヨコマメ												
2016-17f	335	491	15	16	345	566	18	15	3	3	0	0
2015-16s	291	439	13	5	338	555	17	11	3	3	0	0
2014-15	209	282	26	52	165	201	21	16	3	4	0	0
2015/16年度までの5年間の平均	249	342	37	46	217	326	18	18	4	5	0	0
フィールドピー												
2016-17f	50	75	49	50	0	0	112	133	31	42	0	0
2015-16s	48	73	54	21	0	0	114	82	22	29	0	0
2014-15	51	66	51	65	0	0	110	127	25	32	0	0
2015/16年度までの5年間の平均	49	64	49	56	0	0	112	135	40	46	0	0
レンズマメ												
2016-17f	0	0	111	108	0	0	142	222	0	0	0	0
2015-16s	3	2	100	50	0	0	130	206	0	0	0	0
2014-15	1	1	86	80	0	0	102	162	0	0	0	0
2015/16年度までの5年間の平均	1	1	84	89	0	0	100	155	0	0	0	0
ルーピン												
2016-17f	51	50	33	29	0	0	72	70	361	513	0	0
2015-16s	62	76	33	24	0	0	70	61	326	445	0	0
2014-15	56	66	32	26	0	0	68	75	287	382	0	0
2015/16年度までの5年間の平均	62	69	34	30	0	0	64	72	332	473	0	0

f : ABARESによる予測。

s : ABARESによる推定。

注 : 作付面積が500ha未満である場合、または生産量が500t未満である場合には、四捨五入により作付面積または生産量の推定値がゼロと表示される場合がある。

資料 : ABARES (オーストラリア農業経済及び農業科学庁) : オーストラリア統計局 : PulseAustralia

表5 オーストラリアの豆類の供給及び利用状況

作物名	2009-10 (1,000t)	2010-11 (1,000t)	2011-12 (1,000t)	2012-13 (1,000t)	2013-14 (1,000t)	2014-15 (1,000t)
生産量						
ルーピン	823	808	982	459	626	549
フィールドピー	356	395	342	320	342	290
ヒヨコマメ	487	513	673	813	629	555
見かけ上の国内利用量 ^a						
ルーピン	470	621	416	290	310	306
フィールドピー	196	95	130	145	175	124
ヒヨコマメ	1	39	93	1	0	3
輸出量						
ルーピン	353	186	565	169	316	243
フィールドピー	162	302	215	177	169	168
ヒヨコマメ	503	474	581	853	629	663

a : 生産量に輸入量を加えた値から、輸出量を引き、さらに在庫量に明確な変化が認められたか推定された場合には、その値を引いて算出した値。

注 : 生産量、利用量、輸入量及び在庫量は、市場年度に基づいている。ピー及びルーピンの市場年度は11月から10月まで。輸出量のデータは市場年度に基づくものであって、他の資料で参照されている財務年度に基づく輸出量とは一致しない場合がある。500t未満のデータについては、四捨五入によりゼロと表示される場合がある。

資料 : ABARES (オーストラリア農業経済及び農業科学庁) : オーストラリア統計局 : PulseAustralia